

千葉県袖ヶ浦福祉センター養育園  
指定管理者（候補者）の選定結果について

**1 選定結果**

**概要**

|                |  |
|----------------|--|
| 指定管理者<br>候 補 者 | 千葉県袖ヶ浦市蔵波字鎌倉街道 3 1 0 8 番地 1<br>社会福祉法人千葉県社会福祉事業団  |
| 予定指定期間         | 平成 3 0 年 4 月 1 日～平成 3 5 年 3 月 3 1 日（5 年間）  |
| 提案の概要          | <p><b>1 施設の設置目的を踏まえた運営方針</b></p> <p><b>（1）施設運営に係る基本的な考え方等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 2 5 年 1 1 月の児童虐待死亡事件を風化させずに伝えていくことで、事件を起こした事業者としての役割を果たす。</li> <li>・管理職が支援現場に直接関わり、理念や目標の発信・啓発、内部統制の徹底により、より良い支援を行う職場環境と人間関係の構築に取り組む。</li> <li>・急を要し、他に受入先が無い被虐待児を一時保護で受け入れ、児童が安心して生活できる場を提供し、セーフティネット機能の役割を果たす。また、ネグレクトを受けた児童には、生活上の基本的な習慣を習得できるよう支援する。</li> </ul> <p><b>（2）保護者、児童相談所、地域住民、関係機関等との連携</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援学校との連絡会議等を定期的実施し、児童の状態変化の共通認識を図り、一体的支援に努める。</li> <li>・保護者が服薬調整や治療内容等について直接医師と相談、説明を受ける機会として医療相談を随時実施する。</li> <li>・利用者へのアセスメントで把握した希望を実現するため、保護者や学校、相談支援事業者と情報共有し、積極的に外部機関からの支援方法や進路策定についての助言を取り入れる。</li> <li>・支援サポーターを設置し、施設の巡回や支援方法の確認等を行い、職員への指導助言により施設運営や支援の向上を図る。</li> </ul> <p><b>2 利用者の権利擁護と安全確保</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・権利擁護委員会に外部委員として、苦情解決第三者委員や保護者等を迎え、意見や助言を環境改善やサービス向上に繋げる。</li> <li>・権利擁護部会等でヒヤリハット事例や事故の検証、再発防止策の検討を行い、情報共有を徹底するとともに、権利擁護を意識した組織作りを行う。</li> <li>・権利擁護やサービス向上、職員の提案事項等をテーマに少人数のグループミーティングを定期的実施する。</li> <li>・利用者の特性に合わせた食事の提供及び適正な摂取量の把握により健康管理を徹底する。</li> </ul> |

|              |  |
|--------------|--|
| <p>提案の概要</p> | <p><b>3 利用者サービスの向上</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・強度行動障害等のある児童については、応用行動分析と TEACCH プログラムによる構造化の手法等に基づき、チームで一貫した対応を行い、P D C A サイクルにより行動改善を図る。</li> <li>・社会性が未成熟なことによる不適応行動については、ソーシャル・スキル・トレーニング（S S T）技法等により、適切な療育支援を提供し、児童の肯定感や自己決定力を育む支援を行う。</li> <li>・被虐待児等心理的ケアを要する児童については、個別支援が充実した環境設定と、家庭的な支援により育ち直しを助ける。</li> <li>・本人部会として児童ミーティングを開催し、食事や健康、行事等児童自らが考え、職員と話し合う機会を設け、児童の意見や希望を取り入れる。</li> <li>・活動内容やスケジュールを視覚的に理解できる環境設定を行い、個々の障害特性に合った意思決定支援を行う。</li> </ul> <p><b>4 施設の維持管理と適格性・実現性</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日常的な機器の故障や器具の破損等、緊急を要するものについて迅速に対応し、利用者の安全確保・生活環境の保全に努める。</li> <li>・利用者に安全で快適な生活の場を提供するため、施設設備の機能保全、施設の開放性を確保するための改修を行う。</li> <li>・全職員が虐待防止の研修に参加し、また行動障害基礎研修を修了することとし、階層別講座や愛着障害研修、特別支援学校との交換研修等により、職員の資質向上とリーダーの育成に努める。</li> </ul> |
| <p>選定理由</p>  | <p>○県立施設としての役割を理解し、ガバナンスの強化や支援の質の向上に向けた取組など、適正な管理運営が期待できる。</p> <p>○権利擁護や虐待防止、事故防止に関する取組が評価できる。</p> <p>○健康管理や医療相談について適切に計画している。</p>   |
| <p>応募者数</p>  | <p>1 団体</p>  |